

ふるさと美麻会々報

きずな

2011年11月



会の沿革

1989 ふるさと美麻会 設立
1998 ふるさと美麻会々報「きずな」創刊
2011 「きずな」最終号発刊39号

星空二題

小林 智子

①今から50年程前、夫の実家で所用のため夜屋外にでた。

振り仰いだ空はびっしりと星々で埋め尽くされていた、こんなにも星がと驚くばかりだった。

子供の頃から季節毎の星座や神話を楽しみ、プラネタリウムに通ったりして星に親んできたものだが、この夜のように満天の星という景観は初めてで、敬虔な気持ちと凄さで息を呑むばかりの大感動であった。

②孫たちが小さかった頃(20年程前)今夜あたりペルセウス座流星群が見られると言うので、夫の実家の近く坂道上でござを出してもらい、子や孫甥の子たち等大勢で寝転んで空を仰いだ。

そのうちいくつもの流れ星が天空を走るようになった。

皆大喜びで願い事を唱えたり、歓声をあげたりして、天空を楽しんだ。

「7つ見つけた」「私は8つ」願い事は3回も言えなかったなあ・などを興奮して語り合った。夜空が寒く感じ数時間の観測を終えた。

今街中では諸照明が明るすぎて星が見え辛くなっている。当然天体の神秘やロマンにふれることが稀少になっている。

故郷に行く機会があったら是非夜の空を見上げて語りたい。

私の上記の2件の体験を夫の故郷美麻でさせて頂いたことを有難くそして懐かしく思っております。(故小林三徳様ご夫人)

ふるさと美麻

吉田 京

子ども達と一緒に虫や植物を飼育していて、子供の頃を思い出します。

二階にある棚で養蚕に励む母達は、一日に数回も桑摘みをして蚕を飼育した。繭になると屑繭をほぐして真綿づくりをした。広げて背中に入れるととても暖かった。祖母は台所で床板を持ち上げて外し、中の大きな甕のふたを開けると糠が入っていて、大根や人参、茄子などを取り出して、漬物丼に溢れるほど盛り付けた。思えばとても幸せな朝食だった。

北アルプスの残雪に白い馬が現れる頃、代かきをして田んぼに苗を植える準備をした。早朝から手分けして荷物を背負って、二重や神城へ田植えに行った。昼食は酸味のある漬物を食べ雪解け水を飲んだ。当たり前なのが、今にして思うと、水清く空気の澄んだ自然の中で、足腰を鍛え生きるための知恵を育んだことに感謝している。

お陰さまで、今蚕を飼育して、東京市谷の土手には桑の木があること、中条や穂高、岡谷の養蚕の地を訪ねた。苗は大町から取り寄せて田植えをした。あの頃の母達の元気な姿を思い出すこの頃である。



ゴルフと健康道づれ

小林一博

後期高齢者の仲間入りして早二年になりますが、月4〜5回のペースでグリーン通いに精をだしております。

本来自分にはゴルフには縁もゆかりも無く関心も興味なかったのですが、三十歳を出た時に会社の先輩に誘われて伊豆修善寺のコースでクラブ借りて筆おろしをしたのが運のつきでした。

当然当日はOBチヨロの連続でスコアにはならなかったですが時たま青空に向かって吸い込まれる打球とその快感に魅せられ虜になりました。その後、勤務先が自動車会社の関係で工場立ち上げや工程管理等で海外勤務が重なった折にお陰様で出先の土地にそれぞれゴルフ場があり恵まれました。外地の異文化や言葉の壁などでストレスが溜まりがちですがボールに思い切り鬱憤をぶつけてその解消に貢献してくれてのゴルフ様々でした。

二年前の夏に千葉県は「鹿野山カントリークラブ」にて18ホール74のスコアが出て自分の年齢以下で回る「エイジシュート」達成の夢の実現を味わいました。

年を重ね飛距離も落ち体力の劣下も進みますが、毎朝のラジオ体操・筋トレ・お相撲さんの四股踏み等の継続でその遅延に努めています。ゴルフが出来ることは「健康はなに事にも変えられぬ宝」を肝に銘じ健康に努め又同伴競技者に迷惑をかける時がゴルフを止める潮時と決めてゴルフと健康道づれに今を大切に精進したい。

大切な根つ子

種山昭治

都会の片隅で、人生の大半を仕事一筋に愚直にも生きてきた。

されど根無し草に似て、自分の存在感はきわめて薄い。これは故郷を遠く離れた者のみがかもつ流離の愁いか。

その故郷では貧乏のせいもあって、悲しい事恥ずかしいことが多かった。

決して良いことばかりでは無かったけれど、反面多くのかけがえの無いものを与えて頂いたのも事実、野に咲く草花も雄大な大木も、それを支えるのは根つ子が基本であり重要なのだ。我が身を振り返れば貧しくささやかな暮らしではあるが、生きる知恵と結うものは確かに身についている。その根底にあるものは成長期に故郷から授けられた根つこなのだろう。



[千見]

西沢武寛 細山博子

若林幸治 腰原美恵子

吉田 京

東日本大震災の時、市ヶ谷の近くにた。プールの水はあふれて出て、部屋の蛍光灯は大揺れ、本棚から本がなだれ落ちた。3時間歩いて家路についた。電車がとまつてしまったから。昭和40年代も国鉄のストライキで飯田橋まであるいて、職場で牛乳とパンを食べて帰った。交通機関が頼りだと大混乱になる、その時自分の力で歩くしかない。食べるもの確保にも苦心した。今生き物の世話をしていると、ふるさとの体験が役に立ち、水の美味しさと空気の清らかさが身にしみる。



白石とし子

紅葉の頃になると、中学校の頃の写生を思い出します、絵は下手だったけれど、きれいに紅葉した山を、友達と並んでおしゃべりしながら絵を描いたこと、なつかしいです機会があったら紅葉も、友達にも会いたいなあ。

美麻会にも一度参加したいと思うのですがかないません。役員の皆様ご苦労さまです。

出身地区不明の方々

田中 光 上条佐智子 菊池玉子
腰山民子 市野嘉穂子 五味久枝
大海邦子

ふるさとの詩

(美麻村)

宮田三郎作

春 芽吹き初めたる山里の
残雪消えて陽は温し
野山は山菜豊かなり
田畑に働く村人の
元気な姿も頼もしく
春の光の満つる中

夏 青葉茂る山々の
彼方にアルプス雪の峰
稲田も畑も茂り充つ
村の如美しき
麻は丈なす成長ぶり
雪かと思ふ蕎麦の花

秋 村は紅葉に色どられ
稲は田に表は晶に
黄金の波を青するかな
そばの実りも豊かなり
遠くに見える嶺の雪
村に降る迄頑張ろう

冬 野沢菜などを漬け込めば
厳しき冷は手に沁みる
初雪ありて子等達は
スキーに歡喜上げるかな
今年を終わる除夜の鐘
響きて新年迎へけり

宮田三郎

山里の自然の中での暮らしは忘れがたいものです、まして子供の頃の思い出の生活は生涯忘れることはできません。八十八歳の老齢の今日益々故郷の思い出にひたっている自分を見出します。

須沢こぎく

私は毎日元気でおります。
会の皆様よろしく申しあげてください、
いろいろと有難う存じます。
(神戸市在住)

浅見眞由美

美麻北中学校の同級会と重なり、残念ですが欠席です。今も一年に2回位は故郷の四季を見たくて行っています。

北沢清子

昨年総会から、もう一年になりますね
早いですね、よろしくお願ひします。

北沢秀仁

母の故郷です、美麻が大好きです。

大草治子

幹事さんお世話になります。
10月16日母の納骨に、美麻に行ってきました。ポカポカランドで食事し、学校に通っていた頃が懐かしく話がつきませんでした。

宮田利一

第20回ふるさと美麻会のご案内有難う
ございます。1年ぶりに会員の皆様にお
会いできますことを、楽しみにしています。
傘寿を過ぎましたが、お陰さまで元気にウ
オーキングやグランドゴルフを楽しんでお
ります。

中越有江

コバルト色の空と雄大な北アルプス
少し紅葉の始まった山々の裾野、風に
ゆれる、すすき、まぶしいばかりの秋の太
陽、ふるさとの思い出という、脳裏に浮
ぶのはこの風景です。四季を通じてすば
らしい景色の中で育ったことを幸せにおも
います。今回の「ふるさと美麻会」には出
席できませんが、何時の日か皆様とふるさ
との話しができますことを楽しみにしていま
す。末筆ながら役員の皆様いつも有難う
ございます。

松本昭子

美麻会のご案内有難うございました。
皆様とお目もじ出来ますことを楽しみにし
ております。
故郷を思い、一句そえました。
「ふる里の山見えずとも・・・遙かに
霞む、つくば山の頂き」

〔青 具〕

小林重子 横川実夫
宮田住男 志村洋子 高野良子
因幡 尊 北沢光男
田中静雄 戸田逸子 北沢芳本
宮林園子 金子美恵子
池田美重子

江津守人

美麻を離れて 50 数年昔から四季折々に見せる美しい景観が脳裏に焼きつき忘れ
ることはありません。今でも時々美麻に帰り、
おいしい水と空気を味わい、景色や小鳥
の声に癒され、至福のときを過ごし戻って
来ます。しかしオリムピック以後夜中に走
るトラックの騒音は解決して欲しいとおも
います。
最近では下手な陶芸、水墨画に親しみ、
時々ゴルフで体を動かすようにしています。
私が美麻会会長在任中多くの皆様に大
変なご協力を頂き心より感謝申し上げます。
これからも、このふるさと美麻会の絆を大
切に過ごして参りたいと思っています。

中村重勝

大町高校の同窓会総会で、高知出身の
下条美智彦講師(元早大教授)の講演
「ふるさと大町の再生」を興味深く拝聴しまし
た。皆さんとの再会を楽しみにしています。

江津昭治

今回も欠席させていただきます。
週末奥多摩を田舎を思い出しながら、
巨樹、山野草、花を求めて散策し心身とも
癒されています。

中村昂一

美麻を後にしてから、もう56年が経過し
ました。ふるさとの思い出、それは自然の
情景は別として、なんと言っても「おふくろ
の味」が一番の思い出です。

上京して4年後には母は亡くなってしま
いましたが、年2回程度のわずかな帰省の
折に味わう母の手打ちの「ぶつ込みうどん
」や「おやき」「味噌汁」など何をたべても
ああ、帰って来たんだな・・・と本当に忘れ
ることができません。その後「あれ(母)が居
なくても帰って来いよ」と言っていた父も母
のところへ。何時しかふるさとも遠くって
しまいました。美麻会で会計担当12年
間、その間皆様のご協力に感謝しておりま
す。最近では出歩くことが億劫になりました
美麻会ありがとうございました。

白倉律子

ふるさと美麻会のご案内を頂きありがと
うございます。

青具在住の兄(伊藤勝雄)にすすめら
れ、入会させていただきました。楽しみにし
ておりましたが、当日は美麻北中学校の
同級会を東京で行うことになっておりま
す、東京駅よりハトバスに乗りスカイツリ
ー、浅草 etc 観光の予定です、(一泊二日
の会です)大変残念で仕方ありませんが
次回をお待ちすることになります。
ふるさとには本当に愛しい宝物の地です、忘
れたことはありません。

[新行]

酒井 清 坂本郁子

小林寿八郎

老齢にて体調不良の為欠席させていただきます。

市岡 徹

年には勝てないです、少し具合が悪いので今回は欠席させていただきます、友人も亡くなり悲しいです。

[高地]

黒岩卓夫 吉原静子 羽賀愛子
竹村清富 竹村麗子 竹村幸夫
吉田美恵子 宮田日出子

小林靖子

朝食づくりに始まり掃除、洗濯、買い物と毎日忙しい繰り返しの日々で現在にいたった。今回の東日本大震災、近畿東海地方の水害、一瞬にして家や身内を失い、平和な今までの生活が急転直下変化を強いられている、被災者の方々の心情を察するとき、

自分の家で多少健康に不安を抱えながらも家族揃って朝、夕のご飯が食べられる当たり前のことが実は幸せなことだと気づかされる今日この頃です。

足もとを見つめ、平凡な毎日を大切に感謝し歩み続けたいと思います。



松下政行

美麻村に忘れることの出来ない悪い思い出があったのです、私が20代の出来事です、大町より歩いての帰り道、後ろより日通の肥料を積んだ車が通り掛り肥料の上に乗るなさいと乗せて貰い、大塩の大厩の土蔵の見える曲がり角まで来て角を曲がり切れず、川に飛び込み私は向こう側に投げ出されて、岩にぶつかり大骨の第4と首の骨がつぶれて、小谷温泉で一週間養生してなんとか治りましたが、10年ほどして又出てきて府中の専門の病院に20日間入院治療してなんとか治り現在までもつたのですが、又首、足、腰に痺れが出て来てきて、現在塗り薬をはり、はり薬で治療しています、第20回の総会は欠席となります、宜しく申し上げます。

末筆になりましたが会員の皆様のご健康と総会が盛会に出来ますことをお祈り申し上げます。

小林 岳

長野県北安曇郡美麻村二重、父の故郷の名は、いつでも私に心地よい、懐かしい響きを与えてくれます。

始めて訪れたのは2・3歳の頃でしょうか。ほとんど記憶はありませんが、囲炉裏で燻されて黒光りする階段や柱を見て発した一言は、のちに笑い話として伯父や伯母から幾度と無く繰り返されました。

小学校に上がった夏、父の率いる従兄弟の群れに「おみそ」として加わり、金熊川でハヤ釣りをしました。裏の鶏小屋の屋根から茅を抜いて釣り竿とし、木綿糸に針を結んで小石をおもりとする原始的な道具でしたが、父が付けてくれた蜘蛛をエサに小バヤが連続して掛かりました。「釣れたよ」と叫んだことを昨日のこのように覚えています。そのあと一団は川に入ってザルや手探りで魚を捕まえますが、父の手並みの鮮やかさは誰もかなわぬものでした。

後年、私が運転する車に父母を乗せて二重に向うことが何度かありました。ぼかぼかランドの先を左折して二重に向かう途中、小藤あたりで北アルプスの絶景を見て、喜んだ父の声を思い出しています。

(故小林三徳様の長男です)



〔二重〕

佐藤 莊

小林一博

友との別れ

私たちは昭和 25 年、美麻南中学校を卒業し上京した 4 人組みです。その T 君が東大病院での 17 時間に及ぶ大手術に耐えて 20 周年総会を楽しみにリハビリに励んで来たが遂に力尽きてこの 8 月帰らぬ人となってしまった。学生時代は悪がきとして知れた彼は、東京に来て一人「友達思い」故郷思い」に変心、何かにつけて気使ってくれた、10 年前に奥さんを亡くし一人身になって女房を大事にしろが口癖だった。笑顔を絶やさなかつた彼、冥福を祈ります。

星 緑

何時もお世話さまです、生憎用事があつて参加できません。NHKのおひさまで懐かしい言葉が出てきてとても楽しみに見ていました。長い年月が過ぎても昨日のこのように思い起こされます、故郷はいつも懐かしい存在です。

遠藤敬子

兄 種山 弘 が 8 月下旬永眠いたしました。兄はふるさと美麻が好きでした。故人が生前に賜りました、ご懇情に対しまして厚く御礼申し上げます。皆々様のご健勝をお祈り申し上げます。

諸星美恵子

總會のご案内ありがとうございました。私事、何でも精一杯行うのに不安感が残るのはなぜ、3月11日から東北大地震、NHK 朝ドラ「おひさま」を視聴し、ようやく心が開けました。ふるさと美麻(湯の海)で誕生し、貧しい中でも自立して生きるように父母や村の人々がしっかり育ててくれました、その頃得られなかった分をふるさと美麻会の皆様に穴うめしていただき、大変満足しています。大地震や「おひさま」から学んだことは人それぞれ使命が違うことでした、いま 81 歳の私の^{天命}氏名は自立して家庭を守り社会貢献を心がけることです。今後ともよろしく願います。

小林三郎

美麻を去り五十年になります、厳しい自然の中での生活が、今の自分をつくってくれたのだと思います。美麻会に入って二十三年、多くの人達に逢うことが出来ました、が寂しい別れをした人もいます、一日も長く元気で皆様とお付き会いたしたいと思います。



ふるさとの思い出・近況

總會の出欠返信に寄せられました、「ふるさとの思い出・近況」を載せさせて頂きました。併せて同郷の思い出を深めたいと、会員の皆様の氏名を掲載しました。

〔大塩〕

藤井亮治 藤川民子
宮崎万亀子

郷津幸子

川崎へ来て 60 年、今年 87 才です 1 年の早いこと。故郷に帰りたいと思いつつも、体のあちこちが老いてかなしいです。近くに市岡徹さんが居るので、時々会えていろいろ話し合せて楽しいです、目が片方見えないのでこんな書き方で済みません、皆様によろしくお伝えください。

白井千秋

朝夕はすっかり秋の風を感じる季節となりました。昨年 48 年ぶりに小中学校の同級会を大町温泉郷、「景水」で開催され懐かしい顔々々で大盛り上がりの年でした。この季節ふるさとの染し山々を思い浮かべております。

11 月 12 日總會、申し訳ありませんが何かと不都合が続き出席することができません。年会費は徴収しませんとのこと、気持ち寄付させていただきます。

小林敏博

先月で勤めが終わり、毎日が日曜日です。

若林 忠

全ての業務から開放されて、カレンダーや時計を見ながら行動することが少なくなつて、時々日にちや曜日が分からなくなり、次の日にちや曜日を記録する運転免許の更新は大丈夫かなと心配することがある。還暦にはじまり古希、喜寿へと進み更に前期高齢者、から後期高齢者へと称号をいただいた。現在は毎朝公園で行われるラジオ体操に参加し、週 1 回は体育館の健康体操に参加して体力の衰えにブレーキをかけながらの生活である。先日は「NHK」おひさまのロケ地を散策し、高校生のころ友達とテントを担いで登山したことを思い出した。1 日目は中房温泉にテントを張った。2 日目は燕一大天井一槍ヶ岳で 1 泊、3 日目は上高地に 1 泊、最終日は徳本峠を越えて下山した。貧乏登山の一幕である。

中村修子

何時もお便り嬉しく拝見しております、大町にも何かと用事があり帰っています、山の景色、花の美しさにいつも感動しています。役員の皆様ふるさとの大切な思い出に感謝しています。

冊子作成後に原稿を頂きましたため、
別紙で追加させて頂きました。

[高地]

竹村清富

悲しいかな最近はお医者さんに通う事が仕事と
なりました。確実に歳を感じています。

竹村麗子

今一番思い出すことは、9月の秋祭りです、
と言うのはお菓子とか果物を背負って来てくれ
る出店のおばさんが居たからです、それを買うの
が楽しみだったから、好きなのは葡萄でした、あ
の時の美味しさはこの歳になっても忘れられない
味です。

宮田日出子

行事が重なり欠席いたします。
10月20日に帰省して紅葉をたのしんで
来ました、
ふるさは暖かきかなでした。